

岐阜県・愛知県林政連絡会議を開催

〔企画調整課・名古屋事務所〕6月8日、愛知県自治センターにおいて、岐阜県・愛知県林政連絡会議を開催しました。岐阜県から林政部（林政課、県産材流通課、森林整備課）10名、愛知県から農林水産部（林務課、森林保全課、森と緑づくり推進室）10名、中部局からは17名（企画調整課、森林整備課、資源活用課、技術普及課、名古屋事務所、岐阜署、愛知所、森林技術・支援センター）が出席しました。

この会議の目的は、中部局における施策の検討や民有林・国有林を通じた一体的な林政を展開するために、管内の4県との情報交換、意見調整の場等として開催されたものです。

冒頭挨拶に中部局・河野次長、岐阜県林政部高井次長、愛知県・高橋技監から挨拶を受け、その後、中部局、岐阜県および愛知県から27年度の事業概要説明がありました。

また情報提供として中部局からは、○木材販売、○造林の低コスト化に向けた取組、森林整備推進協定の締結状況、○森林鳥獣対策の取組、研究機関との連携、○分収林・官行造林、○木材利用促進について、岐阜県から、○木材利用促進の取組について、愛知県から、○木材利用促進の取組、○森林環境税（あいち森と緑づくり税）の取組についてそれぞれ説明を受け、意見交換に入りました。意見交換では各機関から、木材の安定供給体制、苗木の需要見込みと安定供給体制および民間事業体育成の取組について情報提供を行い、ぎふメディアコスモス開館情報、豊田市の大型製材工場公募開始・半田バイオマス情報、コンテナ苗などの意見が出されました。

この会議のほかにも県の研究機関等との連携なども強めていますが、年々関係機関における垣根が低くなってきていることを感じています。今後も情報交換を通じて、地域の森林・林業の課題解決のための取組を進めていきます。



冒頭挨拶する河野次長